

【第136回生涯教育講座】

新型コロナウイルス感染症の現況

おか だ しゅん べい
岡 田 俊 平モサマツ マムダ カトゥン
Mosammat Mahmuda Khatunいい ざさ ひさし
飯 笹 久ティン ミヤット モイ
Thin Myat Moeアフィファ ファティマ アザーラ
Afifah Fatimah Azzahraよし やま ひろ のり
吉 山 裕 規

キーワード：新型コロナウイルス，感染状況，抗ウイルス剤，ワクチン

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の原因である Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS CoV-2)は2019年11月に中国湖北省武漢近郊において発生が確認された。その後，SARS CoV-2 の感染は世界中に拡散し，2023年2月までに全世界で6億8百万人が感染し，690万人が亡くなった。一方，日本ではワクチンを3回以上接種した者が7割に到達し，オミクロン株の流行が主流になり，重症化率が低下した。このため，医療体制の急激な崩壊も避けられるという見込みになり，新しい変異株の流行に気をつけながら，社会活動を再開する状況になった。世界的な流行も終結し始め，ジョンズホプキンス大のCOVID-19 Dashboardも，2023年3月10日以降のデータ更新を中止した。そして，新型コロナウイルス感染症は5月8日に「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」へ移行することになった。

現在流行中のオミクロン株は，病原性は少し弱くなったが，伝播性はむしろ増しており，まだま

だ油断はできないと考える。ワクチンの改良に加え，ハイリスク者の予防接種も継続する必要がある。COVID-19流行以前の社会活動に戻るためには，異なる作用機序を持つ多種類の抗ウイルス薬を揃える必要がある。

1. 新型コロナウイルスとは

自然開発が原因で野生動物からヒトに伝播し，社会的交流の活発化がヒトーヒトの流行を拡大するという，人獣共通感染症の流行が近年認められるようになった。2002年から2003年にかけて東南アジアで発生した重症急性呼吸器症候群 (SARS-CoV-1 感染症) が流行した。続いて，2012年に中東，そして2015年に韓国で，中東呼吸器症候群 (MERS-CoV 感染症) が流行した。さらに，2019年から SARS-CoV-2 感染症が世界中で大流行した。2023年になり世界的な流行は低下傾向にあるとはいえ，COVID-19 患者の治療に使用できる抗ウイルス剤は不十分で，相変わらず大変注意すべき感染症である。

1) ヒトコロナウイルス

コロナウイルスは，ヒト，コウモリ，ジャコウネコ，タヌキ，マカク，フェレット，ブタ，ヒマラヤハクビシン，家畜，鳥，マウスなどの幅広い

Hironori YOSHIYAMA et al.

島根大学医学部微生物学講座

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部微生物学講座